

鉄道ピクトリアル

1968年6月号 Vol. 18 No. 6

〈特集〉 2Bテンダ形機関車

パンフィックやコンソリ・ミカドなどと比べて過しきはないが、北は樺太から南九州に至る全国幹線に優姿を見せて活躍した38形式682両におよんだ2Bテンダ機の片鱗を偲んでみた

- 表紙 「優雅な記念物」(東武鉄道のピーコック)…岸 幸男 撮影
- カラー頁 「御岳登山ケーブル甦える」……………日立製作所 提供
- グラフ

〈2Bテンダ形特集〉

2Bテンダの系譜(1)……………	西尾 克三郎	12
2Bテンダの系譜(2)……………	西尾 克三郎	14
2Bテンダの系譜(3)……………	西尾 克三郎・小倉 文夫	16
明治30年代の2Bテンダ……………	高松 吉太郎提供	18
2Bテンダの系譜 東武の思い出…堀井義一・荒川好夫・海老名辰雄		48
越後線の5500形(2頁大・解説79頁)……………	西尾 克三郎	50

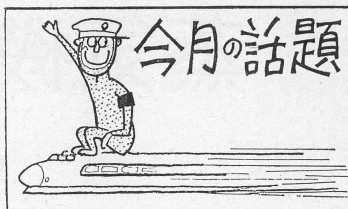
御殿場線に165系電車入る……………	村田康雄・編集部・静岡新聞提供	11
神戸の印象(第12回鉄道写真コンクール作品)……………	辰馬 健	43
蒸機動態保存予定の栄光ある12両……………	桜井良彦・宮本義夫・福本誠一・小林正義・吉田博重・庄野鉄司・西口滋・星良助・川村高志・藤川健男・宮沢孝一・国有鉄道提供	44
ソビエト近況(2)ディーゼル機関車……………	ノーボスチ通信社提供	46
御岳登山鉄道 生まれ変わった鋼索客車……………	中川 浩一・日立製作所提供	52
荒土に再編される 広島運転所……………	村上 勉	54
京成電鉄・新京成電鉄(補遺)……………	石本 祐吉	56
通勤用冷房車登場—京王帝都5100系……………	合葉 清治・高田 幹雄	58
トピックフォト		
(九州中国・関西・東海中部・中部北陸・関東・各地だより)……………		83

■本 文

〈2Bテンダ形特集〉

2Bテンダ機関車の追想……………	成田松次郎	7
山陽線の2Bテンダー機一話……………	庄田不二夫	10
勲功多かりシネルソン機……………	故田島 貞次	19
2Bテンダ機関車のうちピーコック号の車歴……………	今村 潔	22
東武のピーコック……………	飯島 環	26
弁装置のいろいろ……………	関根 清	29

今月の話題・御殿場線電化でよみがえる……………	編集部	3
蒸気機関車の動態保存……………	山田 秀三	4
書評◎「鉄道と自動車」……………	和久田康雄	28
質問に答える……………		32
ソビエトのディーゼル機関車……………	千野 琢也	33
近づく秩父「西武鉄道秩父新線」……………	田中 秀夫	36
資料・日本の私鉄〔終〕……………	和久田康雄	39
京王帝都京王線冷房付5100系……………	小島 穰嗣	59
私鉄車両めぐり〔75〕「京成電鉄・新京成電鉄」(補遺)……………	石本 祐吉	60
失われた鉄道・軌道を訪ねて〔21〕「帝釈人車軌道」……………	白土 貞夫	69
運転所を訪ねて〔7〕「広島運転所」……………	村上 勉	72
「歌でつづる鉄道百年」取材ノートから……………	高取 武	75
鉄道事始のはなし〔18〕「鉄道のストライキのはじめ」……………	浦川 耿介	78
鉄道の話題……………		79
車両の動き……………		80
4月のメモ帳……………		82
第13回鉄道写真コンクール入選発表……………		91
読者短信……………		92
TTKだより・後部車から……………		95



カット 土屋 昭雄 画

御殿場線電化でよみがえる

御殿場線国府津—沼津間 60.2km は40年12月に着工して、この7月1日全線同時開通の予定のところ、電化工事の予想外の進捗により、国府津—御殿場間 35.5kmのみ、黄金週間の多客を見込んで4月27日開通、待望の東京直通急行「ごてんば号」165系3連が運転を開始した。

御殿場線は周知のように、東海道本線の一部として明治22年2月国府津—静岡間の開業と共に登場以来、昭和9年12月1日丹那トンネルが開通してローカル線に転落するまで45年間、箱根八里が“天下の嶮”と呼ばれたと同様、東海道本線の“箱根越え”は文字どおり苦難の45年間であったと共に、マレー型複式機関車の活躍などが織りなす花やかな時代もあった。

蒸気時代の同線は、四十分のこう配(25%)が全線の25%にもおよぶ急こう配の連続と、7カ所で延長2,112mにも達するトンネル、峻険に架けた橋りょう10カ所は、御殿場線の“雨禍”を想像するに充分であり、水害のため明治40年ごろB6を前後につけた急行列車や、箱根越えの大革命ともいべきマレー式9750・9800・9850形54両の大量輸入による壮観をきわめた花々しさは“御殿場線の郷愁”をそそるに充分である。

しかし、御殿場線全線の電化が完成する暁には、それらの苦難の跡も嶮しさの中の花々しい思い出も、一切拭い払われて近代的な路線に一転、観光路線として大きく脱皮し、過去の栄光を取戻すことであろう。

〔表紙〕「優雅な記念物」

岸 幸男 撮影
東武5号機 館林分福センター
'68.4.20
マミヤプレス セコール90mm 絞り8 タイム
1/125 エクタクローム

〔カラー頁〕「御岳登山ケーブル甦える」

日立製作所 提供
御岳登山鉄道コ1・コ2 山上駅
'68.4.1
リンホフテクニカ 4×5 アポロランザー
150mm 絞り8 タイム1/125 エクタクローム

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
New Kokusai Bldg. Marunouchi
3-4, Chiyodaku, Tōkyō/Japan